2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	柔道整復実技Ⅸ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	岩村　一成	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

柔道初段を目標にし、投技・寝技を実施していく。
認定実技審査の形項目を実施する
認定実技審査および柔道指導の基礎を修得する

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　100　%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

認定実技審査実施要綱
リハビリテーション医学改訂第3版. 株式会社南江堂
運動学 第3版. 医歯薬出版株式会社

認定実技審査についてDVD・テキストで確認すること。
リハビリテーション医学や柔道整復学について復習をすること。

《履修に当たっての留意点》

柔道は3年次の認定実技審査でも出題項目となっています。
認定実技審査の対策にも沿った内容となっております。授業内容が辛い、ついていけない、怖いなどの相談があれば気軽に言ってください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の礼法、受け身の復習ができる。	認定実技審査実施要領	事前に範囲を理解すること。また、少しでも不安なことがあればゼミへ参加すること。
		各コマにおける授業予定	礼法、受身の復習		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の形(手技)を理解することができる。	認定実技審査実施要領	事前に範囲を理解すること。また、少しでも不安なことがあればゼミへ参加すること。
		各コマにおける授業予定	手技の説明および練習		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の形(手技)を理解することができる。	認定実技審査実施要領	事前に範囲を理解すること。また、少しでも不安なことがあればゼミへ参加すること。
		各コマにおける授業予定	手技の説明および練習		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の形(腰技)を理解することができる。	認定実技審査実施要領	事前に範囲を理解すること。また、少しでも不安なことがあればゼミへ参加すること。
		各コマにおける授業予定	腰技の説明および練習		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の形(腰技)を理解することができる。	認定実技審査実施要領	事前に範囲を理解すること。また、少しでも不安なことがあればゼミへ参加すること。
		各コマにおける授業予定	認定実技審査対策		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道の形（足技）を理解することができる。	認定実技審査実施要領	事前に範囲を理解すること。また、少しでも不安なことがあればゼミへ参加すること。
		各コマにおける授業予定	認定実技審査対策		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	認定実技審査を理解し実施することができる。	認定実技審査実施要領	事前に範囲を理解すること。また、少しでも不安なことがあればゼミへ参加すること。
		各コマにおける授業予定	認定実技審査対策		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として臨床に必要となるリハビリテーションの概説、分類法が理解できるようになる。	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学総論		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として臨床に必要となる障害に対する分類、評価法を理解できる。	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	障害		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として臨床に必要となる評価法を理解できる。	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	評価法		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として臨床に必要となるブルンストローム、MMTが理解できる。	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	ぶるんストロームステージとMMT		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として臨床に必要となる運動失調の分類が理解できる。	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動失調①		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として臨床に必要となる運動失調の症状が理解できる。	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	運動失調②		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師として臨床に必要となる理学療法が理解できるようになる	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの実際		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	講義範囲の国家試験過去問題が解けるようになる	リハビリテーション医学改訂第4版	事前に教科書（範囲）を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	まとめ		